

## 原子力事業所安全協力協定加盟事業所総合防災訓練見学会

〔開催日〕 令和元年10月15日（火） 11:00～15:30

〔場 所〕 日本原子力研究開発機構 大洗研究所

〔参加者〕 協定加盟5事業所から5名参加

〔訓練見学会概要〕

大洗町、銚田市で震度6弱の大規模地震が発生し、所内の商用電源が喪失した。HTTRは、制御棒が挿入できず原子炉自動停止に失敗。その後、全交流電源が喪失し原子炉の全冷却機能及び全停止機能が喪失したことで原災法第10条事象に進展。さらに、原子炉格納容器の障壁が喪失したことで原災法第15条事象に進展した。一方、高速実験炉「常陽」においては、非常用電源2系統中1系統が起動に失敗し、一定時間経過したことで警戒事象に進展したという想定で訓練が行われた。

地震発生後、速やかに構内放送を行って現地対策本部を設置し、HTTR 現場指揮所から派遣された説明者によって原災法事象が進展するごとに現地対策本部内へ状況を報告して、原子力防災管理者である所長が迅速かつ適確に原災法事象を判断した。また、ERC 対応ブースにおいては、統合原子力防災ネットワークに接続されたテレビ会議システムにより、2名の副所長が中心となって、機構対策本部、ERC 及び官邸事務局と書画装置を用いた画像を共有しながら情報提供が行われた。

HTTR 現場指揮所は、原災法事象の収束に向けて的確に対応が行われ、管理区域内で発生した負傷者についても、応急処置を行って救急車で速やかに搬送された。

「常陽」現場指揮所においては、発生した警戒事象に対して的確な対応が行われ、起動に失敗した非常用電源1系統を回復し原災法事象を回避させた。

協定加盟事業所より参加した見学者は、訓練概要の事前説明を受けた後、現地対策本部、現場指揮所、負傷者の救急車での搬送及び模擬プレス発表を見学した。



現地対策本部



ERC 対応ブース



「HTTR」現場指揮所



救急車による負傷者搬送



模擬プレス発表